



植松 奎二 “截接-軸・経度・緯度”

会期：2013年5月11日(土) - 6月8日(土)
会場：Yumiko Chiba Associates viewing room Shinjuku

トークイベント、オープニングレセプション：5月11日(土)

《截接-Cutting》1971、角材、クサビ、ジャッキ
「第10回現代日本美術展 人間と自然」東京都美術館 (1971.5.10 - 5.30) 展示風景 ©Keiji Uematsu

2013年5月11日(土)より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjukuにて、植松奎二の個展“截接-軸・経度・緯度”を開催いたします。

植松奎二は、重力、引力、磁場といった、通常意識する事のない見えないものを視覚化し感じさせる作品を一貫して制作し、日本とドイツを拠点に、国際的な活躍をしている作家です。《截接》は、1971年より継続して制作されたインスタレーションの作品群であり、国内においては、おもに角材とジャッキ、楔という素材を用いて、最初期からおよそ10年にわたり集中して制作されました。本展では、この作品を再構築し展示いたします。また、《截接》における均衡関係の一部を自身の身体が担うことにより相互関係を提示した、1973年の写真作品、《水平の場》、《垂直の場》、《直角の場》をはじめ、当時描かれたドローイングも合わせて紹介いたします。ダイナミックなインスタレーションとの融合を、ぜひご高覧ください。

また、会期初日には、植松奎二とインディペンデント・キュレーター真武真喜子氏によるトークイベントを開催いたします。会場中央に直立する作品《截接》を間近にして、作家自身の言葉を聞くことのできる大変貴重な機会です。トークイベントでは、個展に合わせて刊行される植松奎二研究冊子「植松 奎二“截接-軸・経度・緯度”」(発行:ユミコチバアソシエイツ、¥800)を配布いたしますので、大変お得なトークイベントです。合わせてご案内申し上げます。

■植松奎二 個展 “截接-軸・経度・緯度”

会期：2013年5月11日(土) - 6月8日(土) 12:00-19:00 休：日、月、祝日
会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

■トークイベント

植松奎二 × 真武真喜子 (インディペンデント・キュレーター)
2013年5月11日(土) 18:00-19:30 * 事前予約制
参加費：特別価格 ¥700 (植松奎二研究冊子付き)

【お申し込み方法】

件名「植松トークイベント」、お名前、ご住所、電話番号をご明記のうえ、event@ycassociates.co.jp まで、メールでお申し込みください。

- * 1通につき2名様までお申し込みいただけます。その際は2名分とご明記ください。
- * 定員(25名)になり次第、受付を終了いたします。
- * ギャラリーからの返信メールが届かない場合は、営業時間内にお問合せください。

■オープニングレセプション

トークイベント終了後、同会場にてオープニングレセプションを開催いたします。

**■新刊 植松奎二研究冊子「截接-軸・経度・緯度」**

発行:ユミコチバアソシエイツ 発行日:2013年5月11日 仕様:A5サイズ、本文24頁 販売価格:800円
協力:(株)ヒューリスティック <http://www.heuristic.com/>

■植松 奎二(うえまつ けいじ) プロフィール

1947 兵庫県生まれ
1973 第8回ジャパンアートフェスティバル 優秀賞受賞
2010 神戸市文化賞受賞 他、受賞多数

<主な個展>

1969, 70, 71, 73, 74, 75, 79, 84, 95, 2012 ギャラリー16/京都
1976-77 「彫刻・写真・ビデオ・フィルム」ストックホルム近代美術館/ストックホルム, スウェーデン
1977 アウスシュニッテ1「植松奎二」デュッセルドルフ市立近代美術館/デュッセルドルフ, ドイツ
1980-81 「軸-経度-緯度」P.S.1/ニューヨーク, アメリカ
1981 今日の作家シリーズ「植松奎二展 立体と写真」大阪府立現代美術センター/大阪
1981, 83, 86, 91, 92, 01, 04, 08 ボードワン・ルボンギャラリー/パリ, フランス
1981, 85, 89, 93 ギャラリー・ロオール/メンヒェングラッドバッハ, ドイツ
1982 「回廊のための構成」サントロフィーム教会/アルル, フランス
1997 「知覚を超えてあるもの」西宮市大谷記念美術館/兵庫
2003 「身体と眼差しへの思考, '70sの写真・映像から新作まで」北九州市立美術館/福岡
2005 「Axis-Latitude-Longitude」マルカステン美術家協会/デュッセルドルフ, ドイツ
2011 ユミコチバアソシエイツ・ビューイングルームシンジユク/東京
「平行軸 空間-時間 Uematsu & Skoda」ボードワン・ルボンギャラリー/パリ, フランス
2012 「軸-重力・反重力」ギャラリーノマル/大阪

<主なグループ展>

1971 「第10回現代日本美術展 人間と自然」東京都美術館/東京, 京都市美術館/京都
「和歌山現代美術展」和歌山県立近代美術館/和歌山
1972 「第2回現代国際彫刻展」箱根彫刻の森美術館/神奈川
1974 「日本の伝統と現代」デュッセルドルフ市立近代美術館/デュッセルドルフ, ドイツ
1975 「2人の現代作家と南蛮美術館」河口龍夫・植松奎二」神戸市立南蛮美術館/兵庫
1981 「アートナウ '70-'80」兵庫県立近代美術館/兵庫
1983 「写真による芸術」ベルリン・ナショナルギャラリー /ベルリン, ドイツ
1983-84 「現代美術における写真展」東京国立近代美術館/東京, 京都国立近代美術館/京都
1988 「第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ 日本館」ジャルテニ・ティ・カステロ/ヴェニス, イタリア
1990 「第12回神戸須磨離宮公園現代彫刻展」神戸市立須磨離宮公園/兵庫
1997 「重力-戦後美術の座標軸」国立国際美術館/大阪
2000 「大地の芸術祭・越後妻有アート・トリエンナーレ 2000」松之山町/新潟
2008 「写真の美術・美術の写真」大阪市立近代美術館心斎橋展示室/大阪
2009 「ビデオを待ちながら-映像, 60年代から今日へ」東京国立近代美術館/東京
2011 「1970年代へ 写真と美術の転換期-複写 反射 投影」ユミコチバアソシエイツ・ビューイングルームシンジユク/東京
2012 「Zauberspiegel」クンストハーレ プレーメン/プレーメン, ドイツ

■真武 真喜子(またけ まきこ) プロフィール

北九州市生まれ。
同志社大学文学部美学芸術学専攻卒業。
2003年まで北九州市立美術館学芸員、2010年3月まで国際芸術センター青森学芸員として勤務のち、同年4月 北九州へUターン。
これまで企画した展覧会は「7th 北九州ビエンナーレ Art for Sale アートと経済の恋愛学」(2002, 北九州市立美術館)、「植松奎二-地軸の傾きから」(2003, 国際芸術センター青森)、「高松次郎-思考の宇宙」(2004, 府中市美術館・北九州市立美術館との共同企画)、「国際芸術センター青森 春のアーティスト・イン・レジデンス エフェメラルー 遍くひとつの時」(2007)など。
高松次郎著述集『不在への問い』(水声社、2003)の編集を担当。共著に『白川昌生フィールド・キャラバン計画へ:2000-2007』(水声社、2007)。
元動物病院の自宅を改造し、2011年4月、アーティスト・イン・レジデンス / オルタナティブ・スペース Operation Table を開設した。

【本展に関するお問合せ】

ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。尚、御質問および画像データの御依頼は下記までご連絡下さい。
ユミコチバアソシエイツ 展覧会担当:宮中 広報担当:福田
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#316 Tel: 03-6276-6731 e-mail: info@ycassociates.co.jp
website: www.ycassociates.co.jp 営業時間:12:00-19:00 定休日:日・月・祝日